

令和4年度 大阪大学 数理・データ科学教育研究センター(MMDS)  
アドバイザー会議 議事概要

○日時：令和5年3月10日(金)10:00-11:50

○開催形態：Zoomによるオンライン開催

○出席者：(アドバイザー会議委員)

一般財団法人 阪大微生物病研究会 理事 米田悦啓

ダイキン工業株式会社 社友 二宮 清

(オブザーバー)

和歌山大学 名誉教授 瀧 寛和

(大阪大学 数理・データ科学教育研究センター )

鈴木 貴 副センター長、高野 歩特任教授、朝倉暢彦特任准教授、中澤崇准教授

(事務) 松山知子、中平あずさ、牧野恭子

○議事概要

1. 数理・データサイエンス・AI教育全国展開事業の現況について

鈴木副センター長から、文部科学省推進事業「大学における数理・データサイエンス・AI教育の全国展開」について説明があり、大阪大学 数理・データ科学教育研究センターでの取り組みについて報告があった。

2. 数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定コースに関する大阪大学の状況について

鈴木副センター長から、数理・データサイエンス・AI教育プログラムの認定申請状況について説明があり、令和4年度リテラシーレベル、応用基礎レベルの実績報告があった。

高野特任教授からリテラシーレベルの必修科目である「文理融合に向けた数理科学I」の令和4年度受講者数は約700名であり、来年度授業数を増やすことでさらに受講者数の増加が見込まれると説明があった。

【委員意見】

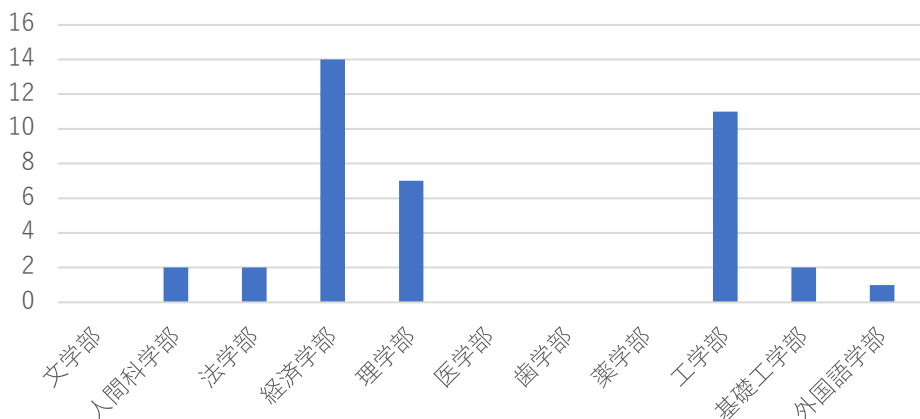
- ・ 認定制度の応用基礎学部プログラムに医学部、歯学部が入っていないということだが、医学部、歯学部は国家試験があるため、データサイエンスプログラムを履修する時間的余裕がないのだと思う。ただ、医学の研究分野でもデータサイエンスの能力は必要であり、大学院課程でデータサイエンスの能力を身につけることが求められている。また、昨今国が力を入れているゲノム研究にはデータサイエンスの力が必須であるため、共同研究などでMMDSの力を活かしてほしい。

- ・教育体制は充実してきていると思う。今後は育成した学生を社会でどのように活躍させるかが課題となり、日本の企業体制の変化が求められる。データサイエンスの力を企業に取り込むためにはどのようにすればよいのか、経営者の意識改革が必要である。経営者を対象とした教育の場を設けることについて検討してみたい。

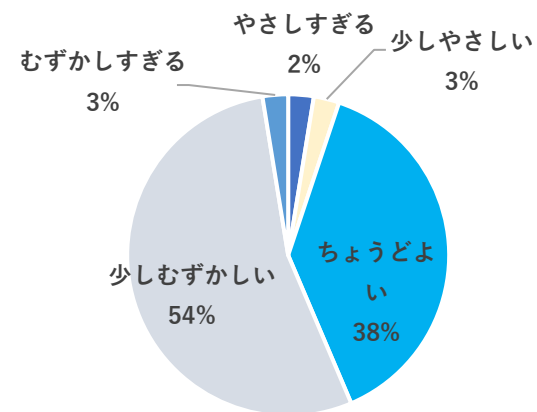
以上

# 数理・DS・AI応用基礎教育プログラム 選択必修科目「データ科学のための数理」 令和4年度（2022年度） 授業評価アンケート

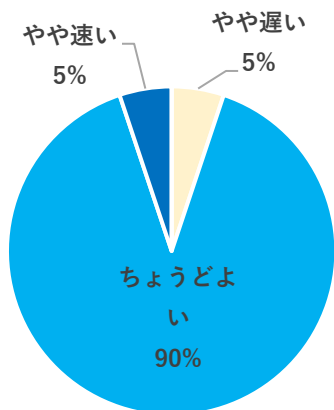
## 1. アンケート回答者の所属(回答者数：39)



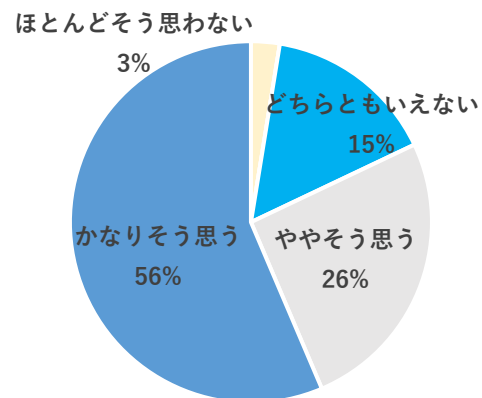
## 2. 授業の難易度は



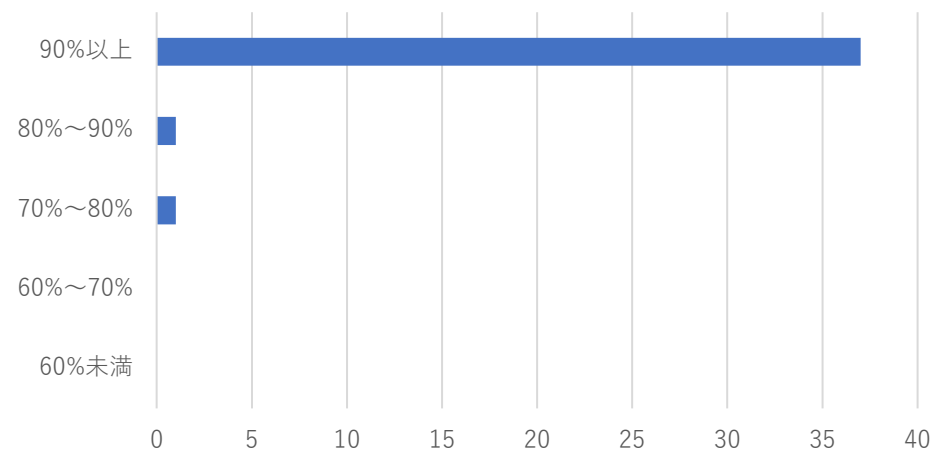
## 3. 授業の進速度は



## 4. 授業はシラバスに沿って体系的に組み立てられていたか

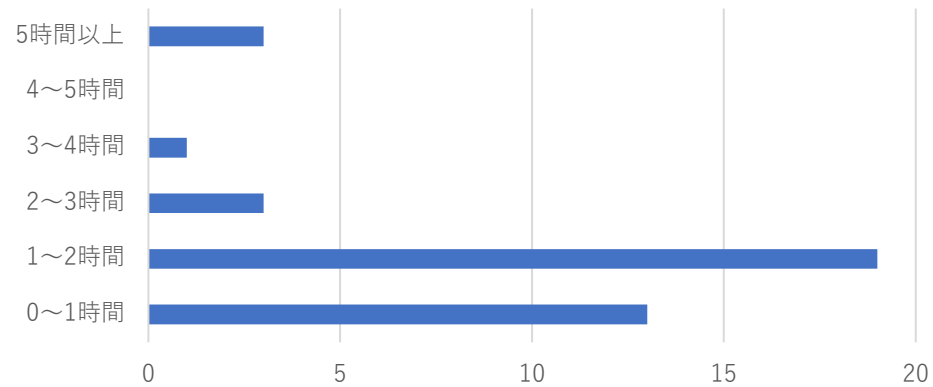


## 5. この授業に時間通りに出席した割合

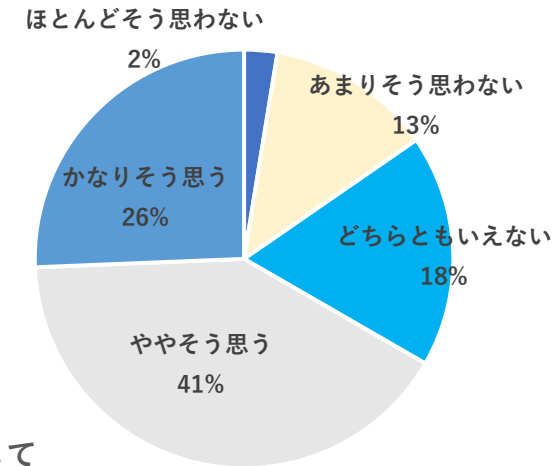


# 数理・DS・AI応用基礎教育プログラム 選択必修科目「データ科学のための数理」 令和4年度（2022年度） 授業評価アンケート

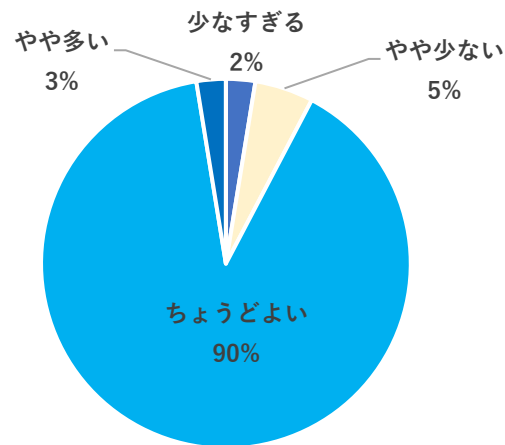
## 6.この授業に学習にあてた1週間当たりの 平均時間



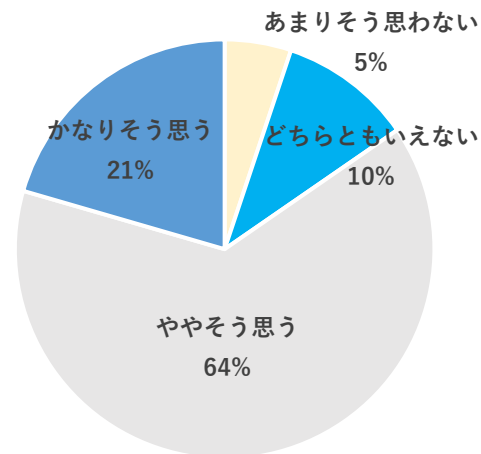
## 7.教員の指示・説明はわかりやすかった。



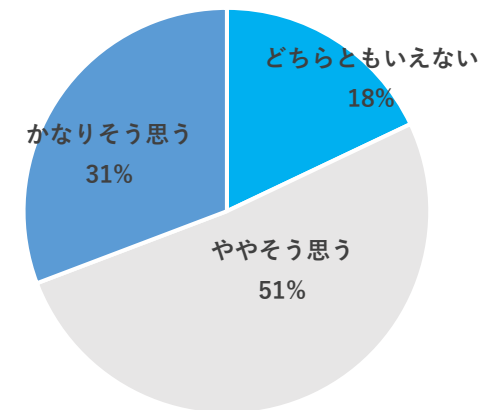
## 8.授業で課された課題の分量



## 9.この授業を通して、身に着けるべきものとして 期待された学習成果が得られたか



## 10.総合的に見てこの授業に満足しているか



# 数理・DS・AI応用基礎教育プログラム 選択必修科目「データ科学のための数理」 令和4年度（2022年度） 授業評価アンケート

## 授業感想（自由記載）

理系でこの分野にある程度知識があったため簡単に感じてしまったが、文系の方々が初めて学ぶにはちょうどいい難易度だと感じたし、自分も新しく学ぶことが多くあった。

途中の講義で出てきた計算が難しく感じました。動画の機会音声は前期では違和感があったのですが今回は聞き取りやすく話がずっと頭に入ってきました。

数学的な証明がきちんと示されていたのは良かったが、特に文系の1回生を対象にするには少し難しいように感じた。ただ授業ごとのテストはそうした文系の学生でも解ける難易度であったため全体としてとても良かったと思う。

初めから全ての講義が公開されていたため、自分のペースで進められた点が良かった。

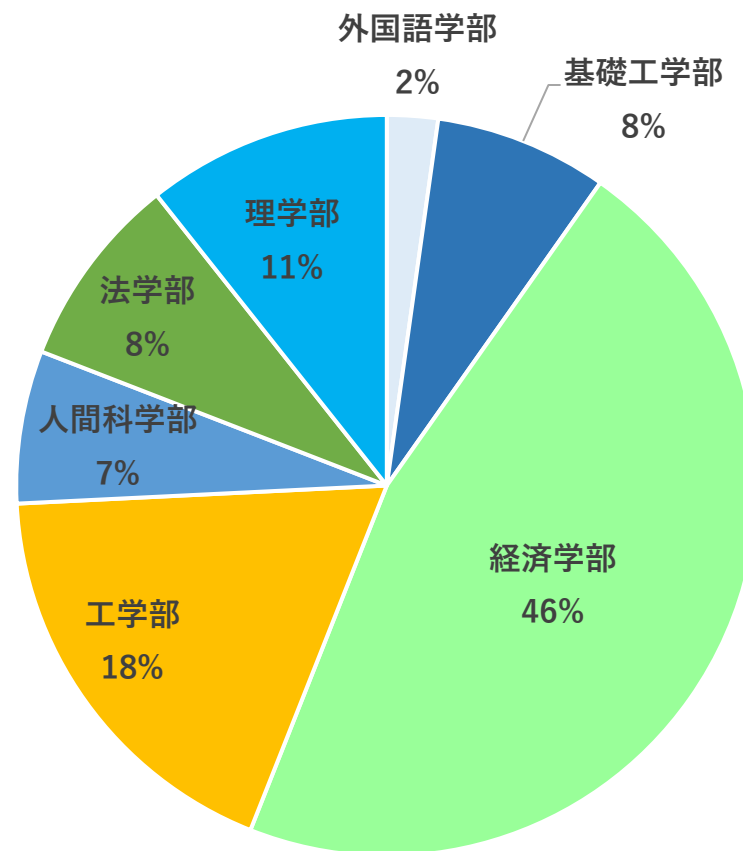
本格的な数学の内容に入ると、かたいはすこしおもかった。

文系の自分にはやや理解が難しい数式なども多かったがテストなどの難易度は調整されていたので頑張れました。ありがとうございました。

誤差逆伝搬法の説明がわかりにくかった。数IIIや線形代数を履修していないと理解できない内容もあったので事前に通知しておいていただきたかった。

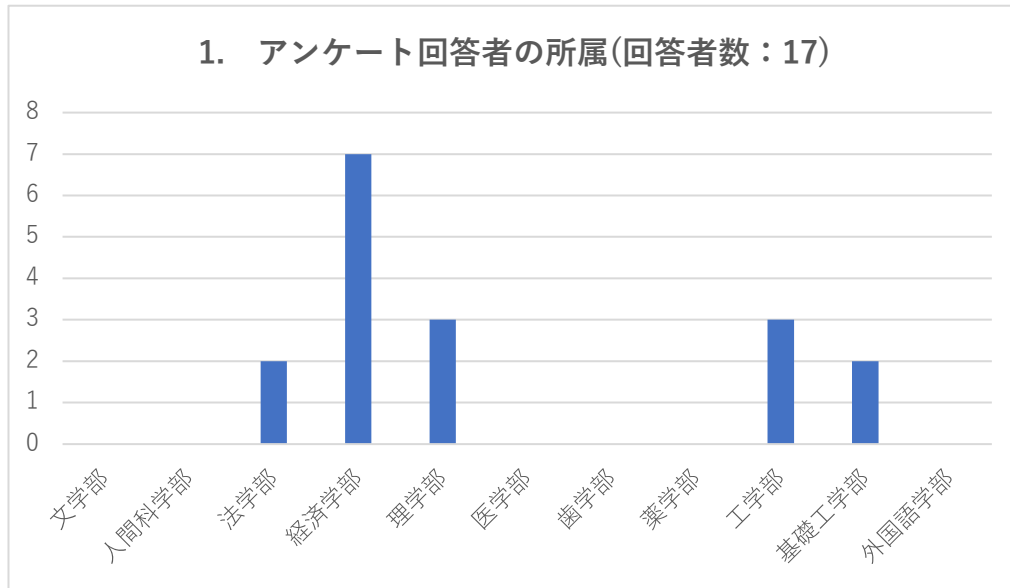
数理・DS・AI応用基礎教育プログラム 選択必修科目「データ科学のための数理」  
令和4年度（2022年度） 学部別受講者数・割合

学部	受講者数	%
外国語学部	5	2%
基礎工学部	17	8%
経済学部	104	46%
工学部	41	18%
人間科学部	15	7%
法学部	19	8%
理学部	24	11%
総計	225	

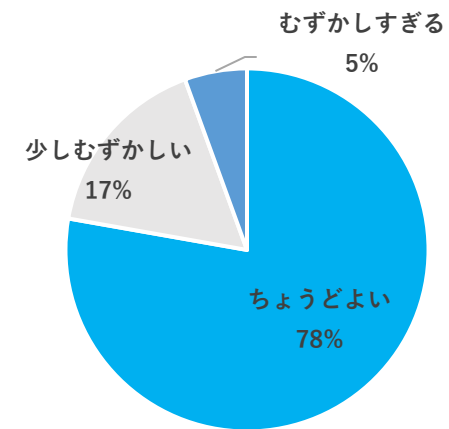


# 数理・DS・AI応用基礎教育プログラム 選択必修科目「データ・AIエンジニアリング基礎」 令和4年度（2022年度） 授業評価アンケート

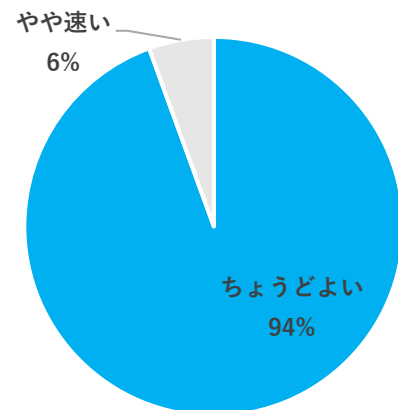
### 1. アンケート回答者の所属(回答者数：17)



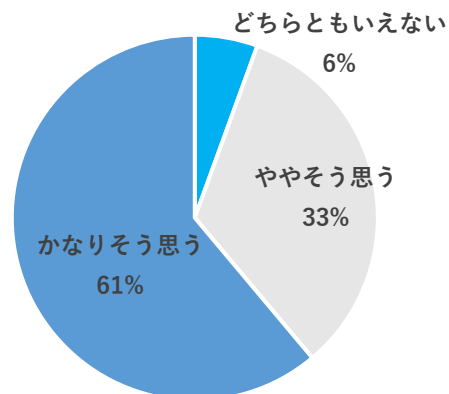
### 2. 授業の難易度は



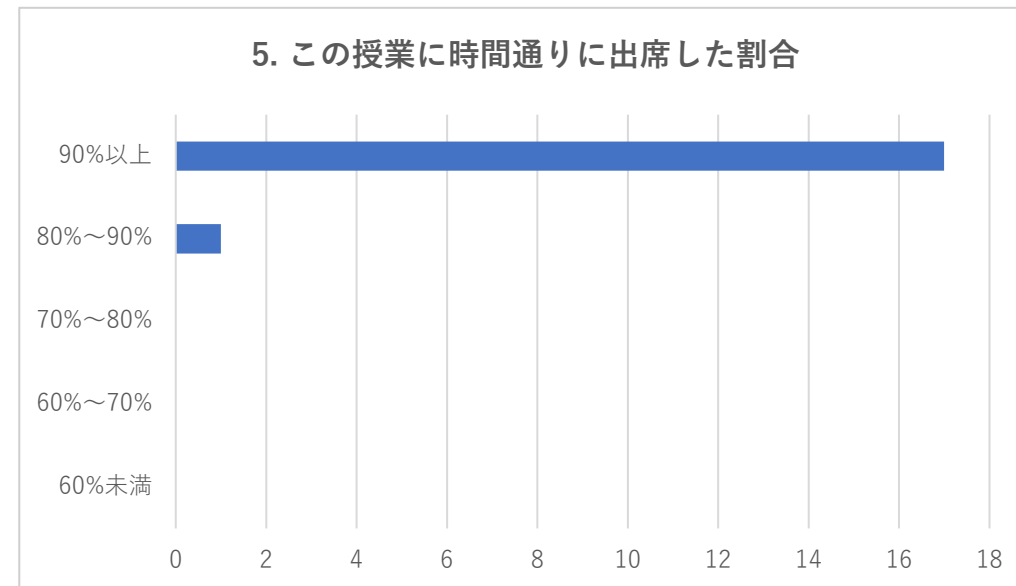
### 3. 授業の進む速度は



### 4. 授業はシラバスに沿って体系的に組み立てられていたか

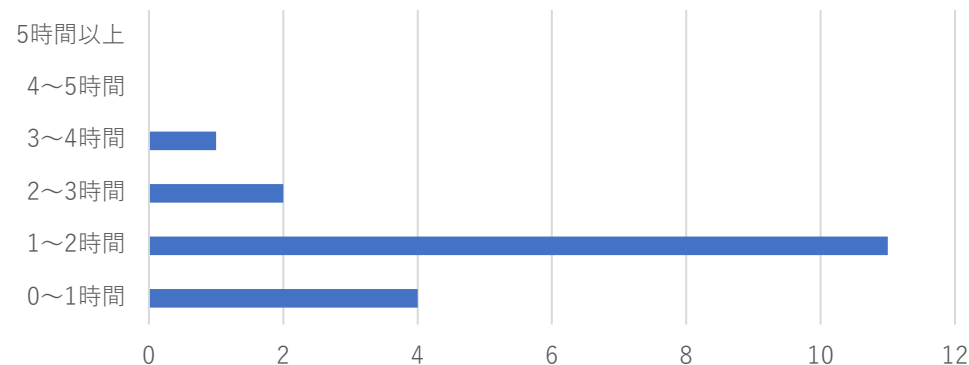


### 5. この授業に時間通りに出席した割合

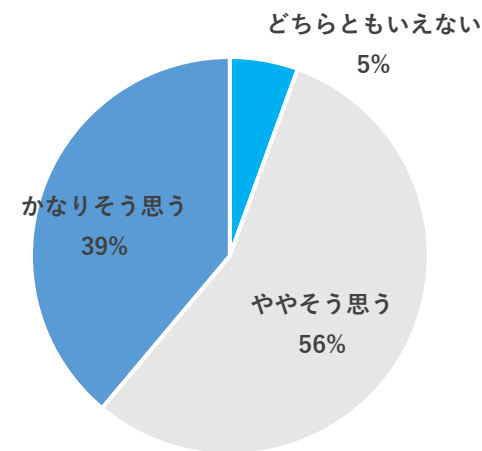


# 数理・DS・AI応用基礎教育プログラム 選択必修科目「データ・AIエンジニアリング基礎」 令和4年度（2022年度） 授業評価アンケート

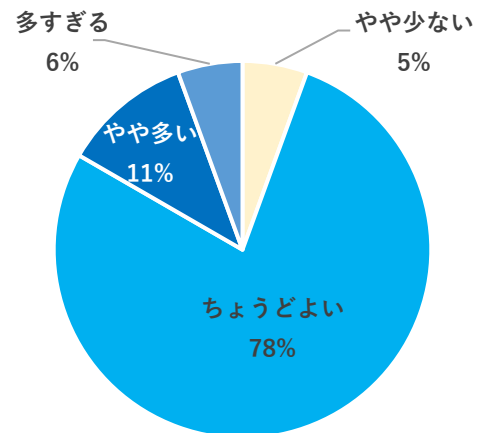
6. この授業に学習にあてた1週間当たりの平均時間



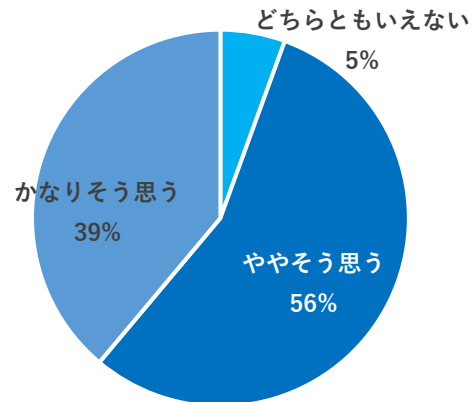
7. 教員の指示・説明はわかりやすかった。



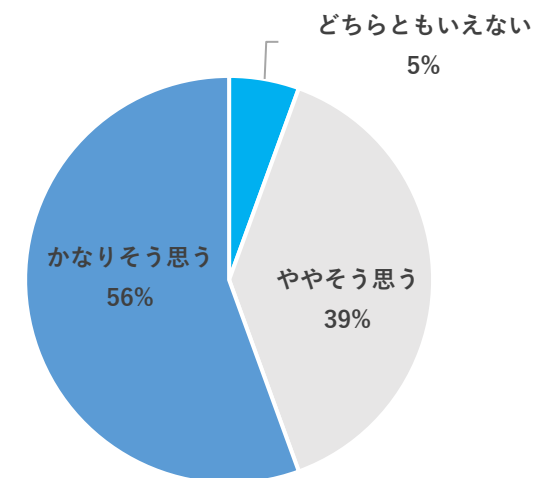
8. 授業で課された課題の分量



9. この授業を通して身に着けるべきものとして期待された学習成果が得られたか



10. 総合的に見てこの授業に満足しているか





数理・DS・AI応用基礎教育プログラム 選択必修科目「データ科学のための数理」  
令和4年度（2022年度） 授業評価アンケート

授業感想（自由記載）

オンデマンド型の授業形態はありがたかったです。

レポートのテーマが良かった。

自分が身の回りでどのようなことを問題だと思っていて、どのような技術があればそれが解決できるのかなと考えるのが楽しかったです。

# 数理・DS・AI応用基礎教育プログラム 選択必修科目「データ・AIエンジニアリング基礎」 令和4年度（2022年度） 学部別受講者数・割合

学部	受講者数	履修率
医学部	1	1%
外国語学部	3	2%
基礎工学部	16	14%
経済学部	51	44%
工学部	16	14%
人間科学部	5	4%
法学部	9	8%
薬学部	1	1%
理学部	14	12%
総計	116	

